



ビオトープ・ニュース081

発行日 2015/10/25

発行：日本ビオトープ管理士会 徳島支部
 事務局：徳島市山城町東傍示 5-281 新弘測量設計㈱内
 事務局長：東條芳顕 TEL：088-622-5688

■ビオトープ・サロン 生物多様性 ～自然を守れば自然が守ってくれる(その2)～

前号 080 で【今こそ、国家百年の大計で！】を紹介しましたが、これに続き、(公財)日本生態系協会発行の冊子「グレインフラからグリーンインフラへ」と「エコシステムNo.130」から引用しつつ紹介します。(編集局)

【経済・社会が持続する美しい地域づくり】

1. グリーンインフラ戦略によるまちづくり

EUは「生物多様性 2020 戦略」および「資源効率へのロードマップ」におけるコミットメントに基づき、グリーンインフラに取り組んでいます。グリーンインフラ戦略においては、幅広い生態系サービスが提供されるよう計画的に配置された自然や半自然地のネットワークをグリーンインフラと定義しています。

2. グレイインフラからグリーンインフラへ

インフラとは、インフラストラクチャーの略で、上下水道、都市公園、砂防や治水・利水のダム、堤防、道路や鉄道、港湾など、生活や産業の基盤となり、社会で共有する施設のことで社会資本と呼ばれています。これらをグレイインフラと称し、その対局としてグリーンインフラがあり、時として「自然も社会資本」とか「自然資本」「緑の社会資本」と表現されることもあります。エコシステム((公財)日本生態系協会会報 No.134)から引用すると、

グレイインフラは、建設に大量の鉱物資源と莫大な費用を費やすに止まらず、維持や運営管理のためにも多額の費用を伴う。そして、必ず老朽化して廃棄物となり処理するためにも多くの費用が必要になる。

一方、グリーンインフラは、森や湿地などの自然が保つ調整機能などの様々な良さを「まちづくり」や「くにづくり」に活かす考え方を基本にしている。EU や米国ではグレイインフラを建設するときにミティゲーションとして合わせて設けられる自然環境などを含め、「自然地や半自然地のネットワーク」すなわち「エコロジカル・ネットワーク」とほぼ同じ意味で用いられている。

3. グレイインフラからグリーンインフラへの転換は可能か

海に囲まれ、狭い国土の火山国日本、防災・減災・共災・克災の視点から考えてみると、被害想定、規模と配置、土地利用転換、継続的更新、統合的取組、これらへの要求にグリーンインフラの導入が如何に高められるかという、充分とは言えません。しかし、従来どおりのグレイインフラへの依存は、経済的にも、物理的にも、持続不可能な段階を迎えているのも事実です。

今ある自然とともに地歴を見極め、自然の摂理や秩序に最大限に習い、「どこをどのように利用し、どこにどれだけの自然を残すか」という適切な選択が求められます。つまりは、どちらも必要で適材適所に、上手く使い分ける土地利用が重要であり、この適材適所の見極めが専門家と呼ばれる研究者や技術者に課せられた使命といえるのではないのでしょうか。以下に、ささやかではありますがグリーンインフラの可能性の一端として例示します。



治水のための施設で
 治水のための調節池をつくる時に、あわせて自然の保全・再生が行われています。多数の市民団体が参加して「芝川第一調節池環境管理パートナーズ」が結成され、治水と環境が調和した調節池の環境管理を進めています。また、地元の企業が環境管理の活動を支援しています

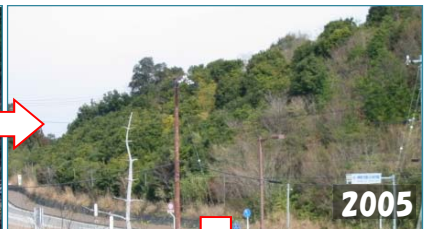
芝川第一調節池(埼玉県)



道路で
 道路の建設時に、幅約40m、長さ1.7kmにわたり高架下をビオトープとすることを決定。近隣の小中学校などと連携し、自然再生が進められています。幼稚園児の自然体験や大学・専門学校学生の学生の実習にも利用されています
 首都高 埼玉新都心線(埼玉県)



企業がつくる住宅の敷地で
 (公財)日本生態系協会のJHEP認証を受けたヒューリックレジデンス津田沼は、在来種100%で緑化されています。ヒートアイランド現象だけでなく、ゲリラ豪雨の被害の抑制や、まちなかで非常に貴重な、野生の生きものたちのすみかともなります



防風・紡潮：鳴門教育大学
 (撮影：1985/2007 榎本)

湿地再生：放棄地の自然化
 (撮影：2003/07/22 榎本)

山腹再生：県道八多法花線
 (撮影：1997/2005/2012 榎本)

■ビオトープ・サロン ビオとくコーナー ～ビオトープ管理士頑張る～

5月から10月の活動について、ビオトープ管理士の活躍を簡単ではありますが紹介します。 (編集局)

【5月から10月の活動】

- 05月13日 生物多様性とくしま会議(全体会議)に参加 稲飯管理士
- 05月24日 生物多様性とくしま会議(人材育成講座)に参加 稲飯管理士
- 05月29日 カワバタモロコ増殖・放流実験連絡会議(グッドライフ・アワード受賞取材)に参加 榎本管理士
- 06月10日 生物多様性とくしま会議(全体会議)に参加 稲飯管理士
- 06月20日 公益財団法人日本生態系協会:評議員会に参加 榎本管理士
- 06月27日 日本ビオトープ管理会:理事会に参加 榎本管理士
- 06月28日 公益財団法人日本生態系協会:人材開発関連事業支援 榎本管理士
- 07月08日 生物多様性とくしま会議(全体会議)に参加 稲飯管理士 片山管理士
- 08月02日 生物多様性とくしま会議(人事育成講座)に参加 稲飯管理士
- 08月19日 生物多様性とくしま会議(全体会議)に参加 稲飯管理士
- 09月06日 公益財団法人日本生態系協会:ビオトープ管理士セミナー(大阪会場)講師 榎本管理士
- 09月09日 生物多様性とくしま会議(全体会議)に参加 稲飯管理士 片山管理士 榎本管理士
- 10月04日 公益財団法人日本生態系協会:ビオトープ管理士資格試験徳島会場運営 片山管理士 丸岡管理士
- 10月05日 国交省徳島河川国道事務所:吉野川生態系ネットワーク検討委員会(第3回)に参加 榎本管理士
- 10月14日 生物多様性とくしま会議(全体会議)に参加 稲飯管理士 片山管理士

■みんなの“たからもの” 身近な生きものの不思議 ～生態を知るほど増す不思議～

ミノムシの卵?・・・調べてみるとクサカゲロウの卵で「優曇華(うどんげの花)と呼ばれ、関東では凶兆とされているようです。仏教では、三千年に一度咲くという想像上の吉兆の花で「滅多にない吉兆」という意味で使われるそうです。カゲロウの幼虫は水の中だと思っておりましたが、クサカゲロウはアブラムシを食べて育つ益虫とのこと。そういえば、ウスバカゲロウの幼虫はアリシゴクで、軒下や縁の下の土の中ですね。(編集局)

【生きものには不思議がいっぱい!】

寄稿:Mさん



我が家の庭には果樹をいろいろと植えていますが、今年は温州ミカンとスタチに異変がありました。

スタチの葉が黄ばんで元気がないので見てみるとミノムシの異常発生で鈴生り状態、実は全く生っていませんでした。温州ミカンも同様で、ミノムシ退治をしました。そこで発見したのが右下の物体です。何かの卵だと想像できますが、まさかミノムシの卵とか? 初めて見ましたが、風に揺らめいて何かしら幻想的でした。しばらく見とれてしまいました。生きものってほんとに不思議がいっぱい!



■ビオトープ・セミナー 資格試験に挑戦して基礎知識を修得しよう!

ビオトープ管理士資格試験過去問題 出展:(財)日本生態系協会主催「ビオトープ管理士セミナー」のテキストより
無断転載禁止:本紙は公益財団法人日本生態系協会の許可を得て転載しています。(編集局)

【計画部門1級の記述問題:解説は次号で紹介】

問081:多くの里山・里地で、在来の野生鳥獣による被害が起きています。在来の野生鳥獣の名前を挙げて、ビオトープ管理士の立場から、対策を400字以内で述べなさい。

■前号080(計画部門の択一問題)の正答「1」

エコロードを計画する場合は、①インターチェンジ近くに設けられるループ内側の環境施設帯については、ドライバの視界を確保しつつ、**草丈の低い自然草地**とする。②道路を横断する中大型の哺乳類のロードキルを避けるため、獣道などと交差する位置には、道路横断用に**アンダーパス**や**オーバブリッジ**などを設置することが望ましい。③野鳥が飛来して高速道路を横断する際、両脇の道路法面に植栽された高木は、**飛翔高確保**する上で重要な役割を果たす。④道路側溝を敷設する際、カメ類、カエル類、鳥類の雛など、落下した生きものが這い出せるように、**斜路の付いた側溝**を使用することが望ましい。⑤道路建設に伴って移植した希少な植物種については、道路建設後も**モニタリング調査**を実施し、良好な**生育環境を維持**する必要がある。

2級はどなたでも受験でき、四国の受験会場は「徳島大学工学部」です。自然環境の保全に関わる方には、是非とも取得していただきたい資格です。詳しくは、<http://www.ecosys.or.jp/> (公益財団法人 日本生態系協会HP)

■編集後記

ビオトープに関するお役立ち情報はもとより、皆様の生活や活動やお仕事等、日常を通じて見たり感じたりしたこと、身近な自然の春夏秋冬や喜怒哀楽のご寄稿をお待ちしております。 ふるってご参加ください! 編集局
 [E-mail: kanv@nifty.com URL: <http://biotopetokushima.yu-yake.com>]